

東灘区会

皆さんの協力で確かな手応え

音5-東 藤井 潤子

毎月1回一緒に唄っています

特別養護老人ホーム「サンライフ魚崎」でデイサービスを利用されている35～40名の人たちと一緒に唄っています。2002年9月から始めて1年と少し、毎回季節の唄を2、3曲入れてナツメ口から唱歌、童謡など1日8～9曲位を30分程の活動です。



ピアノ伴奏で唄のお稽古

ホームの皆さんと同じ歌詞カードを準備し、田辺さん(音文6期)が編集したテープの伴奏で私たちも(毎回8～12名参加)皆さんと一緒に唄っています。

始めはなかなか馴染めなくて歌詞カードのファイルも見てくれなかった人が、やっとファイルを開いてくれて、詩を追いながら口の中が少しずつ動いて月を重ねるにつれ小さな声で、やがて大きな声を出して私たちと眼を重ねて唄っているのを発見して、あ、やっとコミュニケーションもとれたのだなあと、嬉しく思いました。

小埜さん(音文6期)のピアノ伴奏があって唄う時は、皆さんいつもより生きいきと、より楽しく唄っておられます。私たちも皆さんの傍に行き一緒に唄うことで、より親近感を持ち、若かりし頃を懐かしみながら快い気持ちで「また来月来てね」の言葉に見送られて帰っているきょうこの頃です。

このたびグループ“わ”が主催する音楽療法についての講義を受けて



KSC男声合唱団の皆さん

いますが、これらも合わせてこれからの活動に生かせたらと考えております。

クリスマス会で慰問活動

施設を利用している方々の楽しみの一つにクリスマスに行われる色々な行事があります。昨年は「サンライフ魚崎」のステージに「KSC男声合唱団」34名もの皆さんが慰問に来演し、小埜さん指揮のもと大勢の入所者を前にして力強く、また絶妙のハーモニーを披露して下さいました。クリスマスソングに続き「喜びも悲しみも幾年月」「見上げてごらん夜の星を」など聞きなれた曲が合唱されるたびに大きな拍手の連続でアンコールの声も飛び出すほどの盛況でした。



楽遊クラブ銀雅の皆さん

引続き目も鮮やかな衣装をまとった「楽遊クラブ銀雅」のメンバーによる銭太鼓の演技が「鹿児島おはら節」「花笠音頭」「河内おとこ節」などの心地よいリズムに乗って演じられ皆さん手拍子打って楽しいひと時を過ごして頂きました。



表彰・サンライフ魚崎にて

また一昨年に引続きこのクリスマス会で、東灘部会としてこの1年間同施設で行ってきた色々なボランティア活動に対して感謝の賞状と記念品を頂戴しました。これも一重に皆さま方のご協力のおかげと、心より厚くお礼を申し上げます。



清流のみちウォーク

生4-東 廣川 幾雄

絶好の秋晴れとなった10月9日東灘区恒例の“区内をもっと知ろう”ウォーキングが行われた。午前10時住吉駅に集合した一行14名は先ず本住吉神社に参拝した後、神社資料館を見学した。ここには住吉神社をはじめ菟原郡の古い資料が展示されている。JRのガードをくぐって震災後モダンな建物になった阿弥陀寺をちょっと見て有馬道を北へ進む。この道は明治時代、住吉から六甲山を越えて有馬温泉へ行く道だった。

有馬道と彫られた古い石碑を見て、六地藏、柿の木地藏を見て水車へ。江戸時代から明治にかけて住吉川には無数の水車が設造され、油絞りや米の精白に利用されていた。昨年山田公民館横に新設された2基の水車が元気良く回っているところを見てさらに北へ進み、白鶴美術館となりの徳本寺へ着く。

ここは土地の有力者、吉田道可が